

## ◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- ・ ウイルス性肝炎(B型)の報告が1例(30歳代男性)(第21週追加分)あり、症状は肝機能異常です。感染地域は国内、感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は3例となりました。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が2例(60歳代及び70歳代女性)(第22週追加分含む)あり、本年の累積報告数は47例となりました。
- ・ 梅毒の報告が1例(10歳代女性)ありました。症状は扁平コンジローマ、感染地域は国内、感染経路は性的接触(異性間)です。本年の累積報告数は37例となりました。

コンドームの使用や、不特定多数の性的接触を避けるなど予防策をとってください。重症化及び感染拡大を防ぐためには早期発見、早期治療が非常に重要です。

京都市では、平日昼間、土日及び夜間にHIV・性感染症(梅毒・淋菌・クラミジア)検査を実施しています。詳細については、下記のホームページを御覧ください。

○京都市情報館「京都市のHIV検査について(平成29年度から検査体制を変更しました。)」  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000047908.html>

- ・ 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は0.86(37例)となり、3週連続して増加しています。手洗い、うがい、タオルの共用をしないなど予防策をとってください。

## ◆ 今週のトピックス: <侵襲性肺炎球菌感染症>

京都市における侵襲性肺炎球菌感染症の平成30年の累積報告数は47例、全国では1,852例となりました。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- ・ 二類: 結核 6例(肺結核 4例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 2例)うち喀痰塗抹陽性 1例  
【1月以降の累積報告数 150例(肺結核 65例, その他結核 35例, 潜在性結核感染者 50例)うち喀痰塗抹陽性 33例】
- ・ 五類: ウイルス性肝炎(B型) 1例【1月以降の累積報告数 3例】
- ・ 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 47例】
- ・ 五類: 梅毒 1例【1月以降の累積報告数 37例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

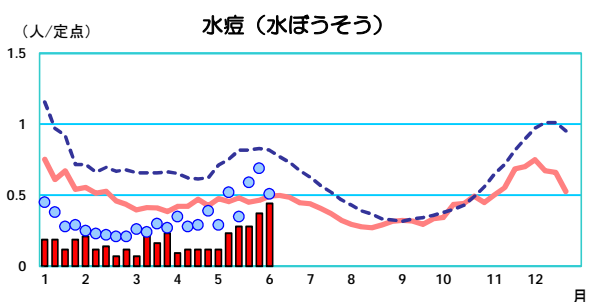
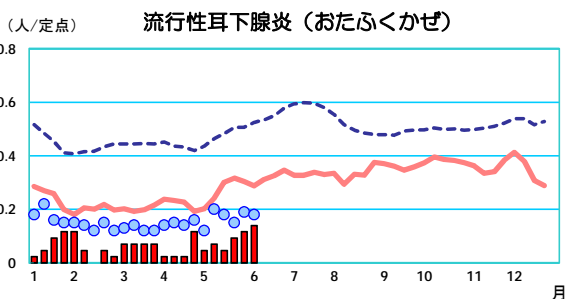
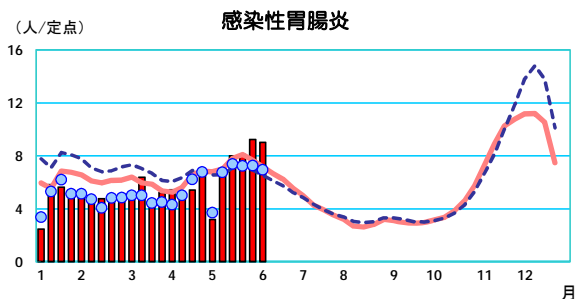
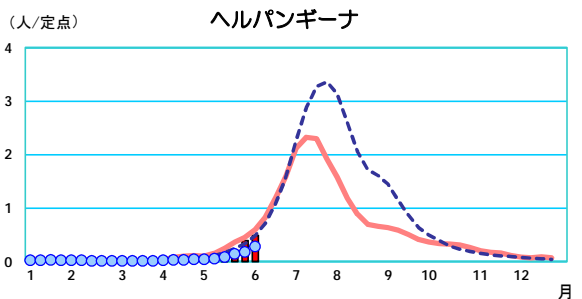
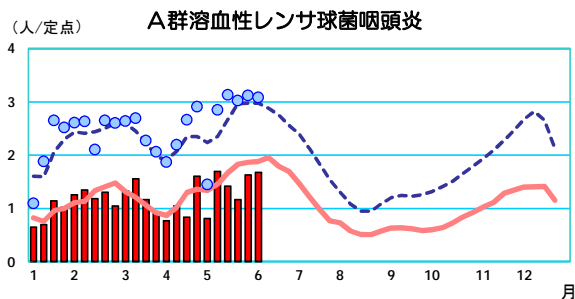
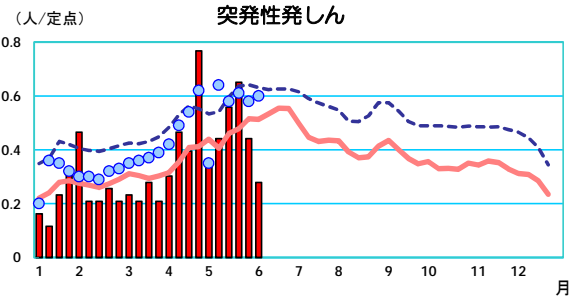
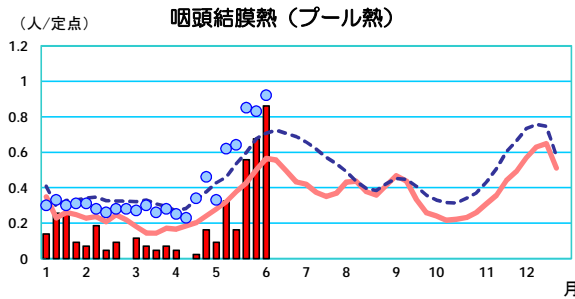
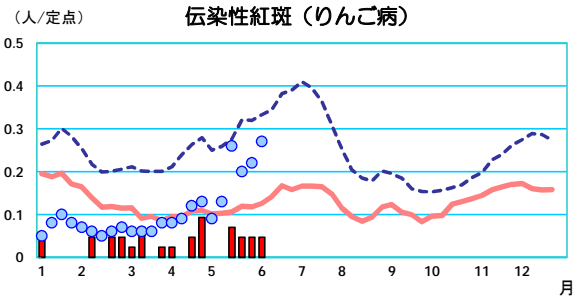
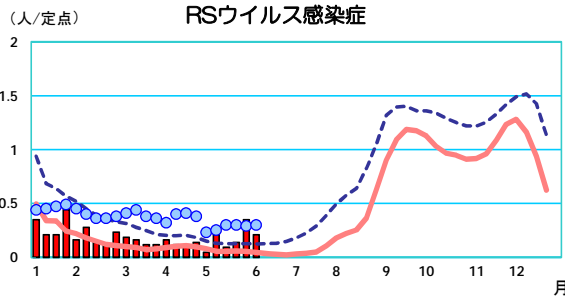
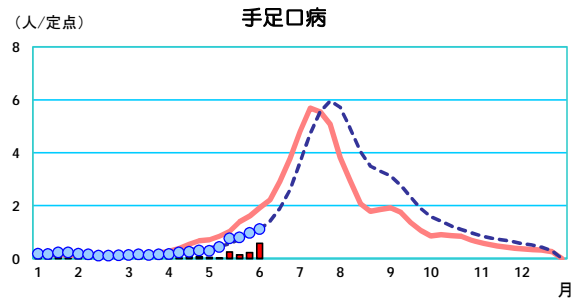
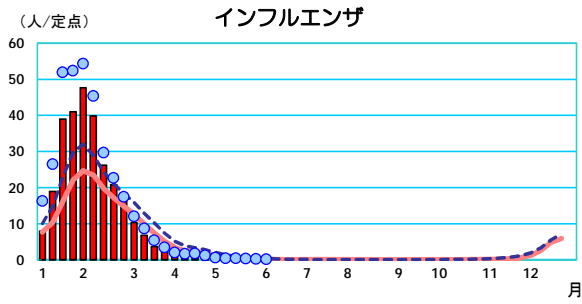
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.07	5
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	9.02	388
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.67	72
	③ 咽頭結膜熱	0.86	37
	④ 手足口病	0.58	25
	⑤ ヘルパンギーナ	0.49	21
眼科	流行性角結膜炎	0.20	2

## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <侵襲性肺炎球菌感染症>  
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、平成30年6月13日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。  
\* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成30年）



## 第23週(6月4日～6月10日)トピックス: < 侵襲性肺炎球菌感染症 >

### 京都市及び全国の発生動向

京都市における侵襲性肺炎球菌感染症の平成30年の累積報告数は47例、全国では1,852例となりました。本疾患は平成25年4月1日から全数把握対象疾患(五類感染症)として届出対象となりました。調査開始以降、報告患者数は、昨年本市で前年より14例減少したのを除き、本市、全国共に患者数は毎年増加しています。本年もすでに全国の報告数は昨年の2分の1を超え(図1)、また、本市においても過去5年間の同時期と比較すると最も報告数が多く(図2)、今後の発生動向に注意が必要です。

京都市の本年の年齢階級別報告数を見ると、60歳以上の報告数が全報告数47例のうち42例と約9割を占め、高齢者と共に罹患しやすいとされている2歳未満の乳幼児を含む10歳未満の報告数は、わずか3例にとどまっています(表1)。この47例のワクチンの接種歴を見ると、小児は報告数が少ないものの、罹患者でもワクチンを接種しており、ワクチン接種率が高いことが推測されます。対して60歳以上の報告患者42例の中でワクチンを接種していたのは5例のみで、不明または未接種が約9割を占めており、高齢者に対するワクチン接種がまだまだ浸透していないことが伺われます(表1)。

### 症状

本疾患の潜伏期間は不明で、症状は小児と成人で異なります。小児の場合、肺炎を伴わず、発熱のみを初期症状とした菌血症(\*)が多く見られます。成人の場合、発熱、咳嗽、喀痰、息切れを初期症状とした菌血症を伴う肺炎が多く見られます。

(\*)菌血症: 本来、無菌であるはずの血液中に細菌が存在する状態です。

### 予防

侵襲性肺炎球菌の予防にはワクチン接種が有効とされています。京都市では、「小児用肺炎球菌ワクチン」及び「高齢者用肺炎球菌ワクチン」を定期接種として実施しています。詳しい情報については、下記URL(健康安全課ホームページ)を御参照ください。

○京都市が実施する定期の予防接種について(子どもの予防接種)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000130799.html>

○高齢者肺炎球菌ワクチンの定期の予防接種について

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>

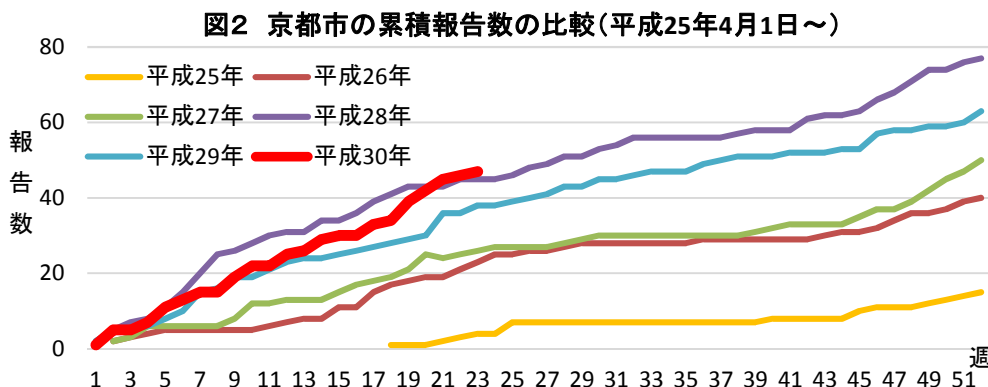
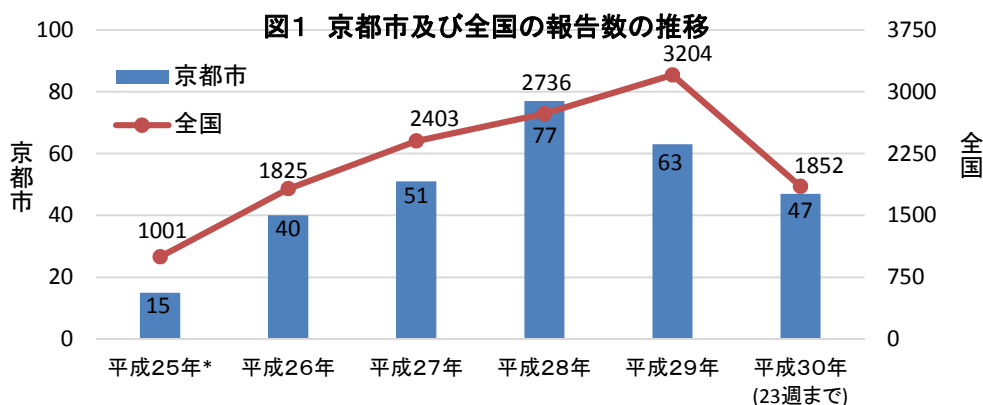


表1 京都市本年の年齢階級別報告数とワクチン接種歴(23週まで)

患者年齢	報告数	ワクチン接種歴		
		不明	無	有
10歳未満	3	1	2	0
20～50代	2	1	1	0
60代	15	8	6	1
70代	15	9	3	3
80代以上	12	8	3	1
総計	47	27	13	7

T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第23週

疾病,行政区別報告数

平成30年6月4日～平成30年6月10日

データ入手日:平成30年6月13日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計	-	-	1	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	1	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	2	2	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	3	92	1	3	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	2	9	7	-	2	-	-	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	2	-	3	22	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	5	2	7	13	3	1	-	2	8	1	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	2	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	4	2	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	5	-	12	13	41	5	15	-	1	6	1	-	2	-	-	-	-	-	-
伏見	-	2	12	18	106	6	2	-	6	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	2	12	46	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	5	9	37	72	388	19	25	2	12	21	6	-	2	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計	-	-	0.25	0.25	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	0.25	0.25	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	0.67	0.67	8.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	0.75	23.00	0.25	0.75	0.50	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	0.67	3.00	2.33	-	0.67	-	-	1.33	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	1.00	-	1.50	11.00	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	1.00	0.40	1.40	2.60	0.60	0.20	-	0.40	1.60	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	1.00	1.00	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	1.33	0.67	10.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	0.63	-	2.40	2.60	8.20	1.00	3.00	-	0.20	1.20	0.20	-	2.00	-	-	-	-	-	-
伏見	-	0.29	1.71	2.57	15.14	0.86	0.29	-	0.86	0.29	0.29	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	0.40	2.40	9.20	0.80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	0.07	0.21	0.86	1.67	9.02	0.44	0.58	0.05	0.28	0.49	0.14	-	0.20	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

# 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第23週

年齢階級, 疾病別報告数

平成30年6月4日～平成30年6月10日

データ入手日:平成30年6月13日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	5	-	-	2	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	9	-	2	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		37	-	10	15	7	2	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		72	-	1	3	5	5	6	15	6	7	7	3	10	-	4	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		388	2	37	52	40	39	40	34	24	21	13	13	24	10	39	-	-	-	-	-	-
水痘		19	-	-	2	-	1	2	3	1	2	4	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		25	-	2	15	5	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		12	1	2	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		21	-	1	5	3	4	4	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		6	-	-	-	-	1	-	3	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	0.07	-	-	0.03	0.01	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	0.21	-	0.05	0.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.86	-	0.23	0.35	0.16	0.05	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.67	-	0.02	0.07	0.12	0.12	0.14	0.35	0.14	0.16	0.16	0.07	0.23	-	0.09	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		9.02	0.05	0.86	1.21	0.93	0.91	0.93	0.79	0.56	0.49	0.30	0.30	0.56	0.23	0.91	-	-	-	-	-	-
水痘		0.44	-	-	0.05	-	0.02	0.05	0.07	0.02	0.05	0.09	0.02	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.58	-	0.05	0.35	0.12	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.05	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.28	0.02	0.05	0.19	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.49	-	0.02	0.12	0.07	0.09	0.09	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.14	-	-	-	-	0.02	-	0.07	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	0.20	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第23週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成30年6月13日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	14	15	16	5	2	5
RSウイルス感染症	2	9	4	6	15	9
咽頭結膜熱	4	14	7	24	29	37
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	35	73	61	50	70	72
感染性胃腸炎	137	304	344	348	397	388
水痘	5	10	12	12	16	19
手足口病	2	1	11	6	10	25
伝染性紅斑	-	-	3	2	2	2
突発性発しん	15	19	24	28	19	12
ヘルパンギーナ	2	-	3	4	17	21
流行性耳下腺炎	2	3	2	4	5	6
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	2	10	3	2	2
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	222	450	497	492	584	598

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	0.20	0.22	0.23	0.07	0.03	0.07
RSウイルス感染症	0.05	0.21	0.09	0.14	0.35	0.21
咽頭結膜熱	0.09	0.33	0.16	0.56	0.67	0.86
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.81	1.70	1.42	1.16	1.63	1.67
感染性胃腸炎	3.19	7.07	8.00	8.09	9.23	9.02
水痘	0.12	0.23	0.28	0.28	0.37	0.44
手足口病	0.05	0.02	0.26	0.14	0.23	0.58
伝染性紅斑	-	-	0.07	0.05	0.05	0.05
突発性発しん	0.35	0.44	0.56	0.65	0.44	0.28
ヘルパンギーナ	0.05	-	0.07	0.09	0.40	0.49
流行性耳下腺炎	0.05	0.07	0.05	0.09	0.12	0.14
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.40	0.20	1.00	0.30	0.20	0.20
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	5.35	10.49	12.19	11.63	13.72	14.02

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。